

NTT千葉グループ CSR報告書 2011

つなが。
それは、
ECO 



編集方針

本報告書は、持続可能な社会の実現をめざすNTT千葉グループの社会、環境に関する取組みと実績を、お客さまをはじめとした、事業に関わるすべての皆様に報告するものです。

NTT千葉グループは、「お客さまに選ばれ続ける会社を目指して」日々の活動を実践しています。この活動をステークホルダーの皆さまにより解りやすくお伝えしたいと考えた構成としております。

■報告期間

2010年4月1日～2011年3月31日です。
(注)一部、2011年4月1日以降の活動を含んでいます。

■報告組織の範囲

原則として、NTT東日本千葉支店、NTT東日本一千葉、およびその他NTT東日本が出資し、関連するグループ会社としています。

■発行時期

2011年11月
(次回：2012年秋を予定しています。)

■参照ガイドライン

- ・環境省作成「環境報告ガイドライン(2007年版)」
- ・「NTTグループ環境会計ガイドライン2008年版」
- ・環境省作成「環境会計ガイドライン2005年版」
- ・GRI「サステナビリティリポーティングガイドライン2006」

■お問い合わせ先

株式会社NTT東日本一千葉
総務部CSR推進室

〒261-8501
千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD棟
Tel:043-274-2786 FAX:043-274-4440

目次

トップメッセージ	1
報告組織の概要	2
NTT千葉グループのCSR	3
CSRマネジメント	4
コーポレートガバナンス	5
リスクマネジメント	6
コンプライアンスの徹底	7
人権啓発	8

■安心・安全な社会のために

東日本大震災におけるNTT千葉グループの対応	9
災害対策の取り組み	10
情報セキュリティの確保	12

■地球環境を守るために

環境マネジメント	13
環境負荷低減に向けた取り組み	15
環境貢献活動	16

■人と社会のために

お客さま満足度(CS)向上	18
次世代につなぐ取り組み	19
技術力をつなぐ取り組み ～つなぐDNA～	21

■チームNTTの取り組み

地域社会への貢献	22
働く社員の安全・健康増進	25
多様性の尊重に向けた取り組み	26

コミュニケーションツールのご紹介	27
------------------	----

表紙について

表紙のデザインは、「人と人」「人と社会」そして「人と地球」をつなぐことをイメージしてデザインしました。

「つなぐ」を最大の使命として、安心・安全で豊かな未来に貢献します

災害対策の取り組み

このたびの東日本大震災により被害を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

2011年3月11日に発生した東日本大震災においては、千葉支店管内も津波や液状化による多大な被害を受けました。

旭市・山武市・九十九里町などの太平洋沿岸エリアにおいては、津波による浸水や家屋の損壊などの被害がありました。また、浦安市・習志野市・千葉市美浜区などのベイエリアや、我孫子市・香取市などの利根川流域エリアにおいては、広範囲にわたり液状化による地盤沈下の被害がありました。NTT設備についても、津波によるビルの浸水や液状化などによる電柱沈下や傾斜など甚大な設備被災がありました。これらの被災設備については、3月末までには概ね応急復旧したところですが、液状化エリアの本格復旧や、津波などによる壊滅的な被害を受けたエリアについては、今後、行政や自治体などと協力しながら復旧・復興活動を進めていきます。また、東北3県の早期本格復旧・復興への広域支援などを行ってきています。今後も災害に強い通信設備の構築に向け努力していきたいと考えています。

また、東日本大震災の影響などにより、今年の夏は電力需要が逼迫し、企業等に対しては、電力使用制限令が発動されました。千葉グループとしても、企業の社会的責任を全うするため、千葉グループ一体となった節電対策に取り組みました。

人と人、人と社会を「つなぐ」

2010年度において、千葉では初めて音声収入の減少をIP関連収入の増でカバーすることができました。光アクセスサービスやNGNを中心としたブロードバンドサービスの普及率を高めることは、これまで以上に人や物の移動を効率化したり、生産性を向上することが可能です。資源やエネルギーの消費を抑えることで、環境負荷の軽減にも貢献できると考えています。

2011年度も引き続き、「つなぐ」を最大の使命として、情報通信サービスの提供を通じて人々の生活を便利にしたり企業活動を効率化することはもとより、人と人、人と社会が安心・安全につながることに貢献していきます。



CSR活動を推進し、「お客さまに選ばれ続ける企業」をめざしていきます

コンプライアンスは単なる法令順守だけでなく、社会的要請に沿った行動をしっかりと確保していくことです。『お客さまに選ばれ続ける会社』をめざしていくために、「基本動作の徹底」「カイゼン推進」「働きやすい職場づくり」の3つが重要です。「やるべき事を、やるべき時に、キチンとやり」「昨日より今日、今日より明日」をめざし一歩ずつ前進していこうという思いです。そのための土台としての「働きやすい職場づくり」に全従業員の力を合わせ引き続き取り組んでいきたいと考えています。健康・安全・コンプライアンスを含めたCSR、業績や成果などすべての基盤は職場です。「対話」によるコミュニケーションを充実させ「働きやすい職場づくり」を推進していきます。

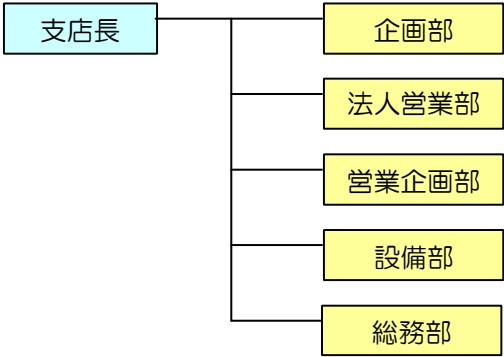
最後に、本報告書はNTT千葉グループの環境・社会貢献活動をはじめとするCSRの取り組みをご紹介しますので、ご高覧いただければ幸いです。

東日本電信電話株式会社
取締役千葉支店長

加賀谷 卓

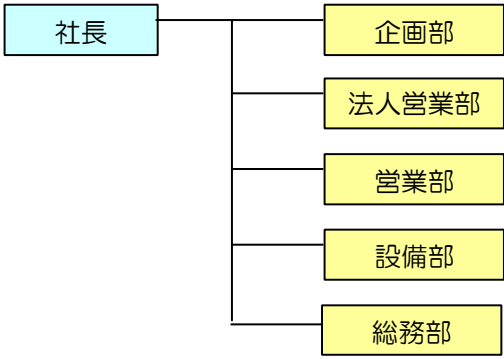
報告組織の概要

■ N T T 東日本千葉支店



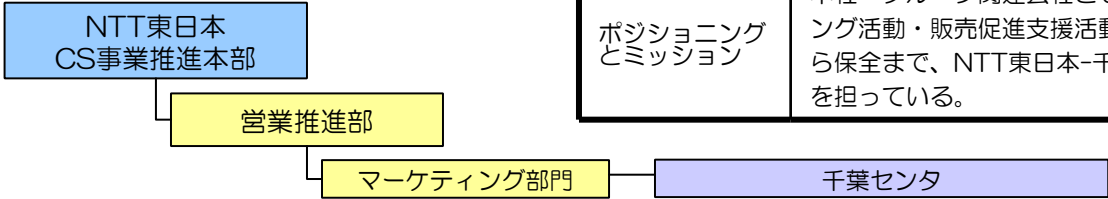
ポジショニング とミッション	千葉県におけるサービス提供と収支についての責任を担い、県域会社の自主的・自立的な事業運営を支援すると共に、グループ会社間協業・連携を円滑かつ強固にする役割を果たす。
-------------------	--

■ N T T 東日本ー千葉

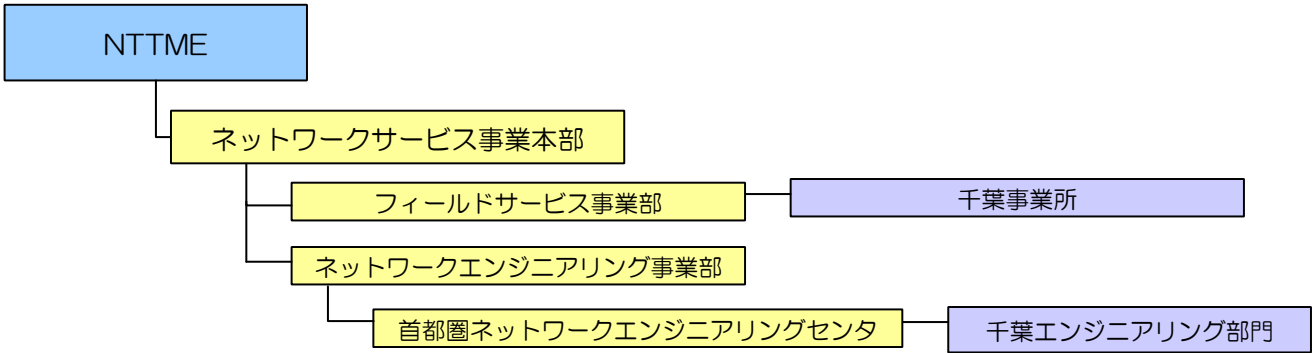
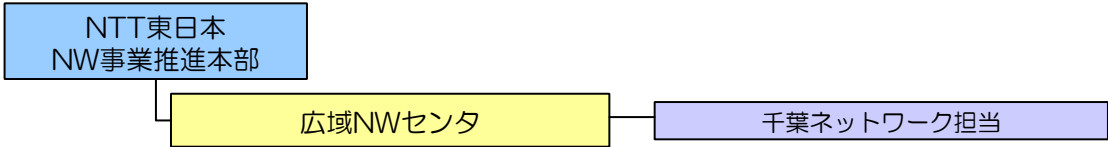


ポジショニング とミッション	千葉県におけるNTT東日本グループの代表として、お客様に電話や光アクセスサービス等の様々な情報通信サービスの提供をすると共に、システムインテグレーションや、ブロードバンド周辺ビジネスの提案から設定工事、メンテナンスまでのサービスを幅広く提供する役割を果たす。
-------------------	---

■ N T T 千葉グループ関連組織



ポジショニング とミッション	本社・グループ関連会社として、マーケティング活動・販売促進支援活動や、設備設計から保全まで、NTT東日本-千葉を支える役割を担っている。
-------------------	--



NTT千葉グループのCSR

NTT千葉グループは、NTTグループのCSR活動の基本理念「NTTグループCSR憲章」（2006年6月制定）の実践に向けて、「NTT東日本グループCSR行動基準」（2007年4月制定）、「NTT千葉グループ企業理念」（2005年7月制定）、および「NTT千葉グループ行動指針」（2005年7月制定）に基づき、社員一人ひとりが事業活動を通じてCSR活動に取り組んでいます。

NTTグループCSR憲章

●CSRメッセージ

私たちNTTグループは、情報通信産業の責任ある担い手として、最高のサービスと信頼を提供し、“コミュニケーション”を通じて、人と社会と地球がつながる安心・安全で豊かな社会の実現に貢献します。

●CSRテーマ

■安心・安全なコミュニケーション

- ・私たちは、社会を支える生活を守る重要なインフラとして、災害時にも強い情報通信サービスの提供に努め、いつでも、どこでも、だれとでもつながる安心と信頼を提供します。
- ・私たちは、情報セキュリティの確保や通信の利用に関する社会的な課題に真摯に取り組み、安心・安全な利用環境と新しいコミュニケーション文化の創造・発展に尽くします。

■人と地球のコミュニケーション

- ・私たちは、自らの環境負荷を低減し、地球にやさしいコミュニケーション環境を構築するとともに、情報通信サービスの提供を通じて社会全体の環境負荷低減に取り組めます。

■人と社会のコミュニケーション

- ・私たちは、より豊かで便利なコミュニケーション環境を実現するとともに、情報通信技術を活用し、人口減少、高齢化社会におけるさまざまな課題解決に貢献します。

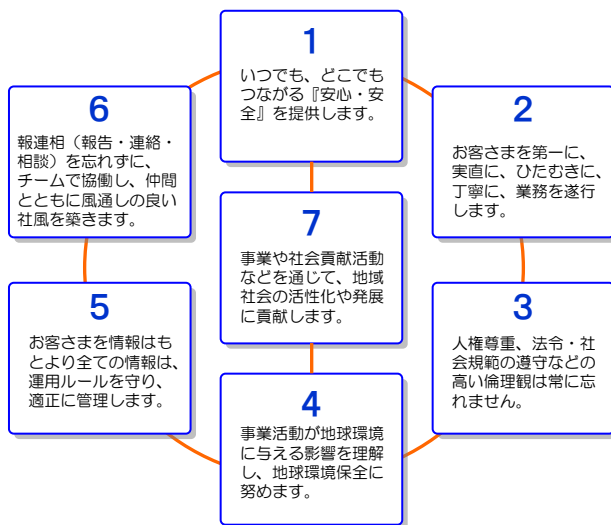
■チームNTTのコミュニケーション

- ・私たちは、“チームNTT”として、高い倫理観と人権意識を持って事業に取り組み、働きやすい職場環境の整備や個の成長・多様性の尊重に努めるとともに豊かな地域社会づくりを推進し、社会的使命を果たして行きます。

※ チームNTTは、派遣社員・契約社員も含めたNTTグループで働く社員、パートナーの皆さま、NTTグループのCSRに賛同する退職した方々で構成されています。

NTT東日本グループCSR行動基準

私たちは、情報通信サービスの提供を通じて、持続可能な社会の一員として信頼されつづけることを目指し、さまざまなニーズに的確に応え、安心・安全で豊かな社会の実現に貢献します。その実現に向け、一人ひとりが、「社会や環境との共生なくして企業の存続なし」と肝に銘じ、チームNTTの顔として、前向きに、そして自ら行動します。



NTT千葉グループ企業理念

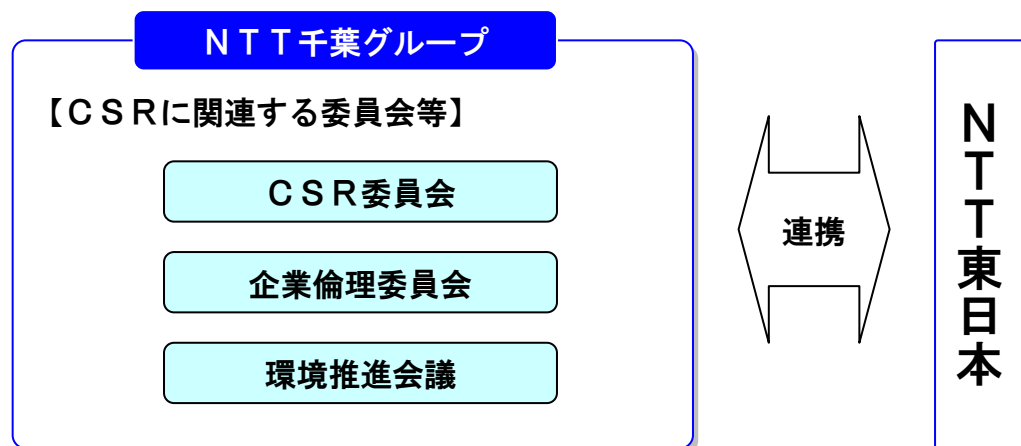
私たちは、常に未来に目を向けながら、最高の技術を持って、お客さま一人ひとりに最適なコミュニケーションサービスを提供することで、豊かな千葉の実現に向け貢献する企業であり続けます。

NTT千葉グループ行動指針

1. 総ての仕事はお客さまのため。一人ひとりが迅速、親切、丁寧に。
2. プロ意識を持ち、自ら考え、責任を持って行動しよう。
3. 成長しよう 会社と自分の未来のため。チャレンジしよう 自らの成長のため。
4. いますぐとりかかろう。創意工夫とフットワークで。
5. 社員の技術・知識・知恵をぶつけ合って、新たな価値の創造に挑戦しよう。
6. お客さまのプライバシーと会社の信用を守ろう。
財産である情報を扱う責任と自覚を胸に。

■CSR推進体制

NTT千葉グループにおいては、「企業としての社会的責任を果たし、社会の持続的な発展に貢献していく」とのCSR経営の基本的考え方のもと、CSR活動を推進することを目的に千葉支店長／社長を委員長とする「CSR委員会」を設置し、CSRに関する取り組みを展開しています。



■CSR推進に向けた取り組み

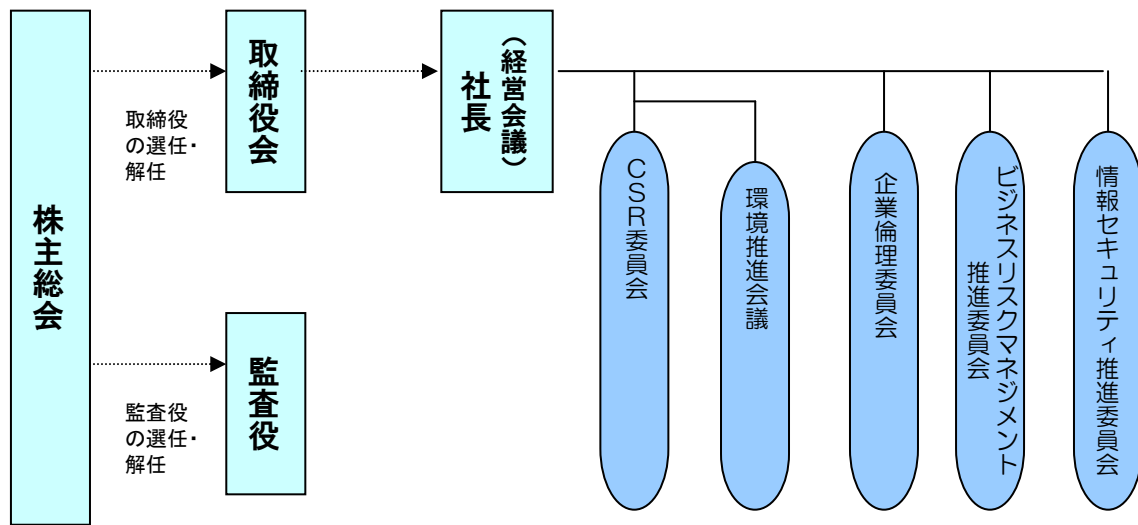
各委員会については、原則として半期に1回開催し、それぞれの年間計画の策定、取り組みの進捗状況のチェック、および現状をふまえた新たな取り組みなどを検討しています。

また、経営幹部への研修、階層別研修、およびすべての従業員を対象としたeラーニング研修の実施など、CSRに関する理解の促進や意識の向上に向けた取り組みを継続的に実施しています。

■取締役会の構成

株式会社NTT東日本-千葉は、NTT東日本100%出資子会社として、千葉県内におけるNTT東日本の電気通信設備等の構築、保守、管理等の受託業務等を実施しております。

NTT東日本-千葉は7名の取締役による取締役会を構成し、原則月1回取締役会を開催し、法令等に則り、会社経営の重要な業務執行の決定、ガバナンス体制の構築等を行っています。



■業務監査室監査

NTT東日本業務監査室により、毎年、リスク評価に基づき選定されたビジネスリスク軽減のための会計・契約監査およびコンプライアンスの徹底に向けた監査として会社法、景品表示法等に関する監査を実施するとともに、個人情報保護法および環境保全活動の推進状況等についても継続的に監査を実施しています。

リスクマネジメント

NTT千葉グループでは、事業活動および社会に及ぼす影響を最小限に抑えるため、2008年度に「ビジネスリスクマネジメント推進委員会」を設置し、リスクの予防・啓発等に関する各種施策の検討と展開を図り、危機管理を充実させています。

■ビジネスリスクマネジメントの取り組み

①事件及び事故等の情報共有化の徹底、②事業対応力の強化、③未然防止に向けた取り組みの展開の3つを柱に業務運営基盤強化の取り組みとして更なるリスクマネジメント強化に努めています。

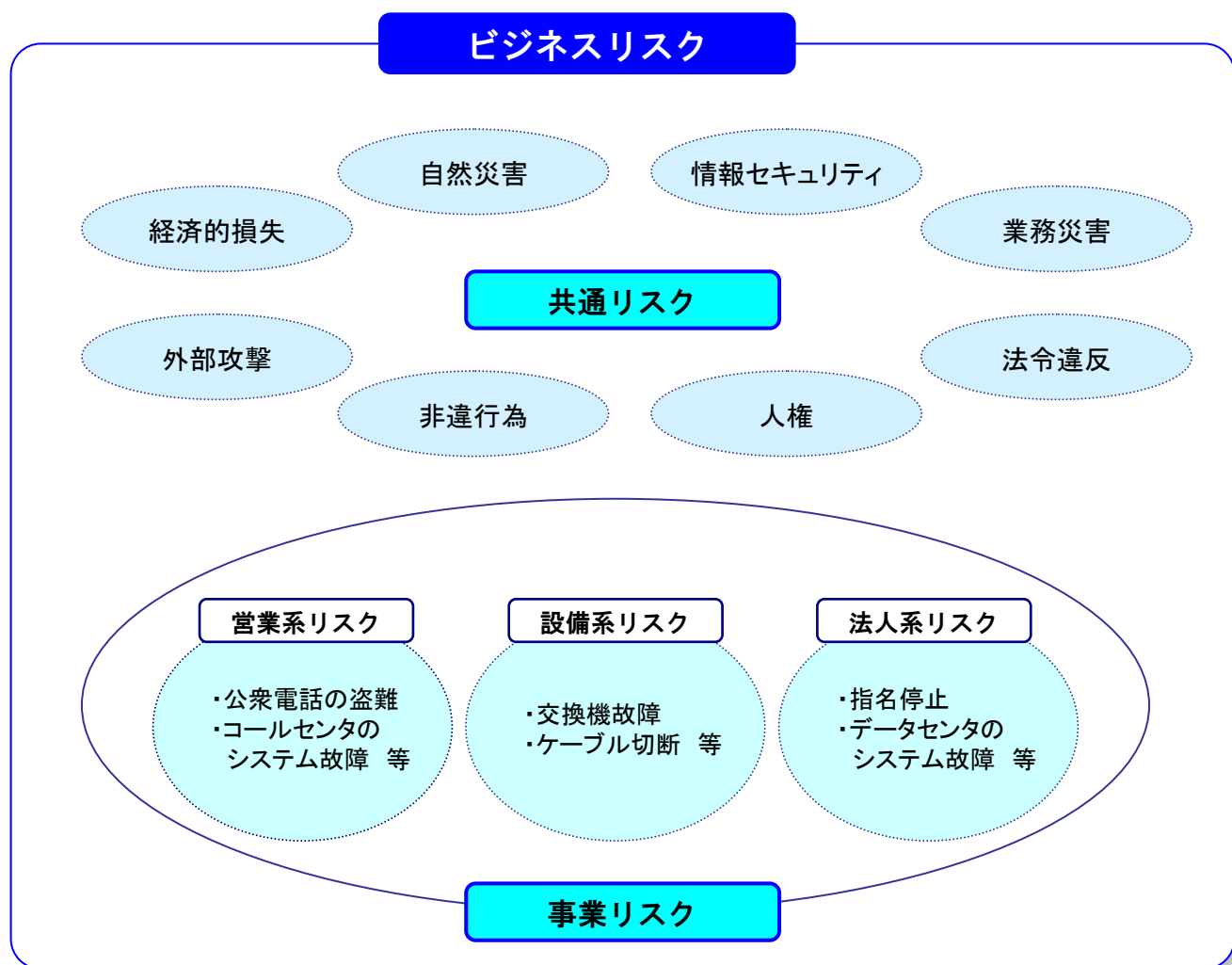
■事業継続への取り組み

2010年9月、新型インフルエンザによる本格的なパンデミック発生に備えた「千葉グループ新型インフルエンザ対策における事業継続計画書（BCP）」を策定し、事前に対策を講じるとともに、業務毎に優先度を設けて事業継続に向けた取り組みを強化しております。

■今後の取り組み

2011年3月11日に発生した東日本大震災による津波・液状化等による被害の状況を踏まえるとともに、今後予想される「首都直下型地震」を想定し、大規模災害に備えた事業継続計画書（BCP）を策定し、社会機能の維持、重要通信確保等に向けて取り組みを展開します。

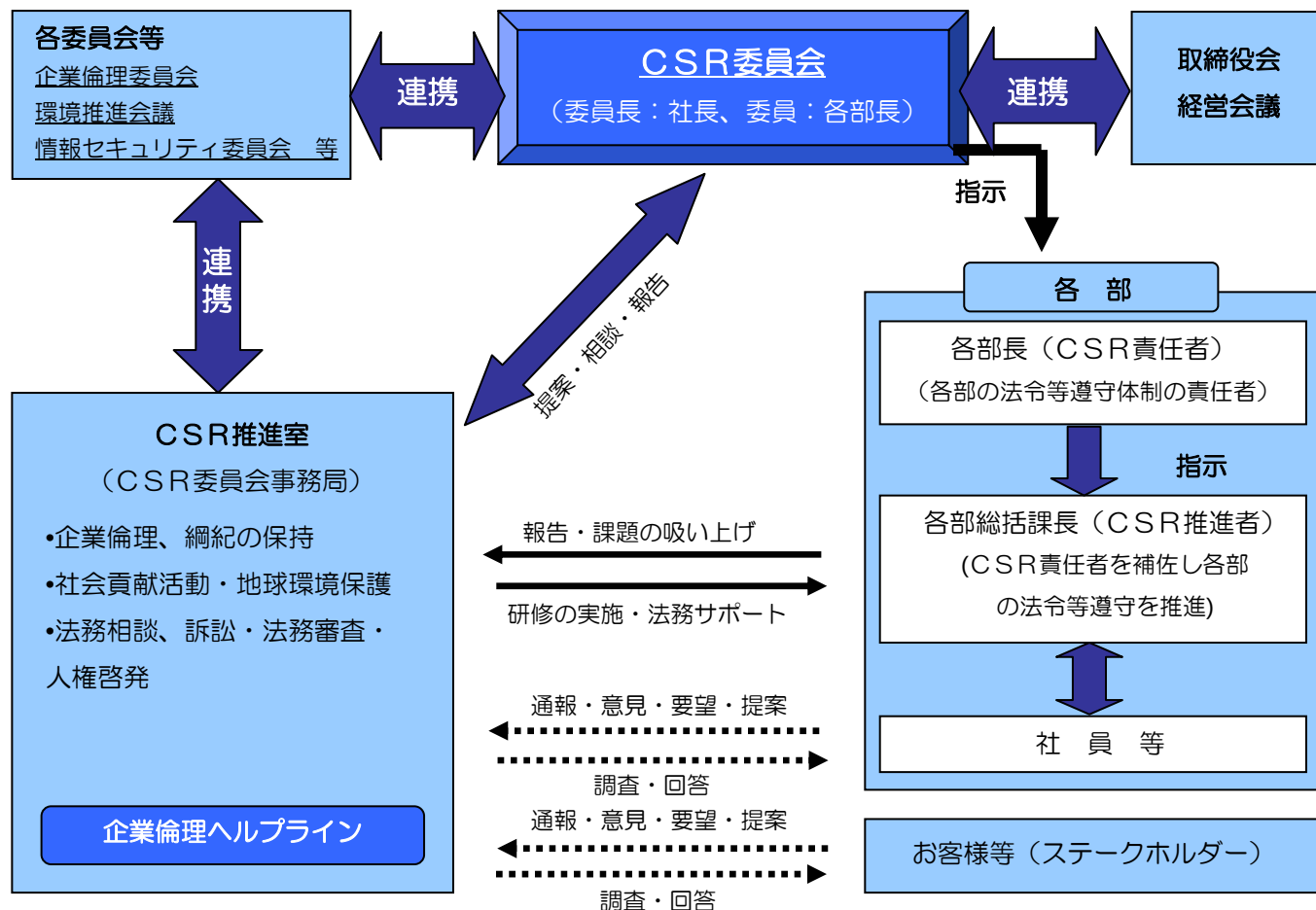
また、今後もさまざまなリスクの予防や直面するリスクへの迅速かつ的確な対応を強化していきます。



コンプライアンスの徹底

■CSR委員会／企業倫理委員会

NTT千葉グループでは、CSR推進に向けたマネジメント体制を確立し、CSR推進活動方針の検討及び決定、CSR活動状況の進捗管理、さらにステークホルダーの方々からの意見要望等に対する改善策の検討及び決定するために「CSR委員会」を設置しています。また、不正・不祥事の根絶に向けて、企業倫理の遵守に対する各取組み等に関して審議するため「企業倫理委員会」を設置しています。



■CSR推進のための社員教育

NTT千葉グループでは、企業倫理や人権をはじめとするCSRに関する理解と意識の醸成を図ることを目的に、階層別に各種研修を実施しています。

□2010年度実施の研修

研 修	内 容	対象者	受講人数
マネジメント層研修	・企業におけるコンプライアンスについて ・組織力向上について 等	担当部長、担当課長等	216名
社員研修	・CSRについて ・人権啓発について ・企業倫理・コンプライアンスについて 等	主査等、社員	650名
eラーニング研修	①CSR・企業倫理、②情報セキュリティ、 ③法務・契約、広告審査の基礎、④公正競争遵守、⑤ダイバーシティ 等	全社員	—

■人権啓発活動

人権啓発活動の一環として、NTT千葉グループにおける人権意識の高揚と人権に対する理解と認識を深めることを目的として、夏休み期間中の約1ヶ月半にわたり、社員（契約社員、派遣社員を含む）及び家族を対象に標語およびポスターを募集しました。

募集・応募の概況については、次のとおりです。

□ 募集期間：2010年7月20日（火）～8月31日（火）

□ 応募作品数： 標語 2,764点
 ポスター 16点

優秀作品

《標語の部》

□NTT千葉グループ 優秀賞

人権にメタボもダイエットもありません心の重さは皆同じ

青木 良夫

（NTT東日本一千葉 法人営業部）

歩く歩幅は違って、いたわりの気持ちはみんなに同じ！

小関 通代

（NTT東日本一千葉 営業部）

知らない振りして悔やむより、一声かけて生まれる笑顔

門脇 昇

（NTT東日本一千葉 設備部）

やめようよ 見ない 聴かない 知らんぷり

曽根 亜希子

（NTT東日本一千葉 営業部）

《ポスターの部》

□NTT東日本本社 優秀賞



友部 里菜 （NTT東日本一千葉 営業部 社員家族）

受賞者のコメント

今回は優秀作品に選んでいただきありがとうございました。
日頃から、「ありがとう」という感謝の気持ちを伝えることは、大切なことだと思っていて、今回、その気持ちが皆さんに少しでも伝わればと思い応募しました。
この絵を見て、何か感じてくれる人がいたら嬉しいです。
これから「ありがとう」という感謝の気持ちでいっぱいになる世の中になってほしいと思います。

□NTT千葉グループ 優秀賞



鎌田 淳子、植村 佳苗
（NTT東日本-千葉 設備部）



長谷川 真弓
（NTT東日本-千葉 設備部）



小川 紗季
（東日本-千葉 法人営業部 社員家族）

安心・安全な社会のために

東日本大震災におけるNTT千葉グループの対応

■東日本大震災への対応について

2011年3月11日、宮城県三陸沖を震源とする、わが国観測史上最大となるマグニチュード9の大震災が発生しました。この大震災で被災した地域へ、NTT千葉グループの力を結集して、電気通信ネットワークの復旧に取り組みました。

□迅速な復旧を開始

○千葉管内

3月11日に発生した東日本大震災により、千葉支店管内も津波・液状化による多大な被害を受けました。旭市・山武市・九十九里町など津波による被害があり、また浦安市・習志野市・千葉市美浜区などのベイエリアや、我孫子市・香取市などの利根川流域エリアにおいては、広範囲にわたり液状化による地盤沈下の被害がありました。「通信サービスをいち早く復旧させて、皆さまの声や情報を届ける役目を果たしたい。」一社員全員が同じ思いの下、私たちは何よりも先に、被災された方々の通信手段を確保することに努めました。

地震発生後、直ちに災害対策本部を設置し、被害状況の把握や計画停電対応を行い、避難所へ特設公衆電話の設置や公衆電話の無料化を実施するとともに、インターネット接続PC端末を設置しインターネット接続を無料開放しました。

また、震災直後より液状化の影響で地下ケーブル、マンホール、電柱等の所外設備に大きな打撃を受けました。しかし広域停電はあったものの所内の設備については直接的な被害はありませんでした。

こうした中、NTT千葉グループは連携を密に図り、早期復旧をめざし故障受付の強化、所内設備および所外設備対応の強化を行い、早期復旧をめざした取り組みを進めるとともに、被災地へのさらなる復旧体制を構築することに努めました。

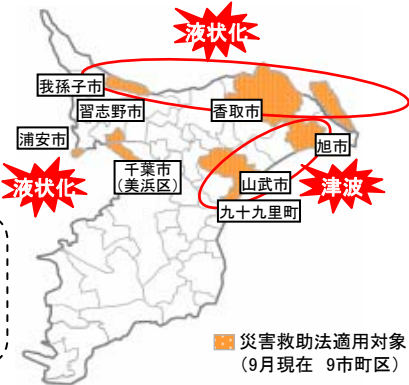
千葉管内の災害復旧については、3月までに概ね応急復旧をしました。液状化エリアの本格復旧や、津波による壊滅的な被害を受けたエリアについては、今後、行政・自治体等と協力しながら復旧・復興活動を進めていきます。

○東北地方への復旧支援

千葉管内の復旧と並行して、宮城県域を中心に応急復旧を支援しました。支援内容は以下の通りです。

1. 所内設備故障修理支援
2. アクセス故障修理・設計・施工支援
3. 避難所へのポータブル衛星車による特設公衆設置支援
4. 通信レスキューバイク隊による避難所ニーズ調査支援
5. 所内SO工事支援

NTT東日本としては、沿岸部を中心に通信ビル18棟が水没・流失などで全壊したほか、6万本以上の電柱が流出・折損しました。また、中継伝送部の架空ケーブルなども切断・破損しました。



□社員のコメント

NTT-千葉 設備部 アクセスサービス担当 小橋 宏行

3月11日に発生した東日本大震災の広域支援活動として、仙台市を中心とした宅内の故障修理を行いました。修理終了後、お客様と話をさせて頂き、今回の震災の甚大さを感じると共に、多くの感謝の言葉を通してあらためて私たちの仕事の重要性和やりがいを感じました。

今後は、今回の震災を踏まえ迅速な設備復旧とさらなる安心・安全な設備構築に努めていきたいと心に強く誓いました。

安心・安全な社会のために 災害対策の取り組み

NTT千葉グループは、情報通信サービスの早期復旧のため、大規模な災害を想定した訓練を実施しています。平時からのたゆまぬ訓練を通じて「つなぐ」使命を全うしていきます。

■大規模災害・大規模故障を想定した実践的演習

2010年10月22日（金）、NTT市川中山ビルの電力の特異故障を想定した故障対応の演習を実施しました。蓄電池保持時間内に復旧できない場合を考慮し、初動措置の実施、準備体制の検討・確立を行いました。具体的な内容については、次のとおりです。

- (1)蓄電池保持時間、保守担当者駆けつけ時間、回復見込み等の確認
- (2)サービスリ障時の影響（ユーザ影響度）把握
- (3)移動電源車、所内オンサイト等の手配判断
- (4)千葉支店内関連部門体制の確立

また、2011年1月20日（木）～21日（金）には、神奈川の綱島ビルで発生した電力の特異故障を想定した演習を館山ビルで実施し、冷静かつ適切な対応が出来るように、各種知識と実際の作業を通じて復旧作業を体験することで保守担当者のスキル向上を図りました。

この他九都県市合同防災訓練など、さまざまな訓練を通じて、「つなぐ」使命を全うしていきたいと考えています。



■災害対策活動

2010年9月1日（水）千葉県会場・5日（日）千葉市会場にて実施した九都県市合同防災訓練をはじめとする自治体等の主催による防災訓練や防災フェアにおいて、災害対策機器等による臨時電話回線の構築や特設公衆電話の設置など、応急復旧訓練を実施しました。

また、会場に設置した「災害用伝言ダイヤル171」の利用体験コーナーにおいては、パンフレットを配布し使い方を説明するとともに、実際にこのサービスを体験していただき、災害時の安否確認方法を広く知っていただきました。



この他、千葉日報社主催の「防災座談会」に参加し、防災関係者や他のライフライン関係機関とともに、災害に対する日頃の取り組みなどを発表しました。NTT千葉グループとして、地震災害に対する対応策や情報収集、ならびに被災時のライフラインの確保・復旧・防災対策等のアドバイスを行いました。今後も、このような活動を通じて社会の安心・安全に貢献していきたいと考えています。



安心・安全な社会のために

災害対策の取り組み

■通信レスキューバイク隊

通信レスキューバイク隊においては、3月11日に発生した東日本大震災の際に千葉県内被災エリアの情報収集活動を実施するとともに、4月上旬から約1カ月間、宮城支店における特設公衆電話の設置状況確認および避難所のニーズ調査を実施しました。

平常時の主な活動としては、第31回九都県市合同防災訓練（千葉県会場・千葉市会場）をはじめ、各自治体等が主催する防災訓練に参加し、被災状況の調査の模擬走行や電気通信設備の早期復旧を目的とした情報収集活動を実施しました。

また、訓練会場内にバイク車両や訓練模様のパネル等を展示し、来場者に通信レスキューバイク隊の取り組みを紹介しました。

なお、二輪車の技能を高めるため、「ベストライダーコンテスト」にも積極的に参加し、「第40回二輪車安全運転千葉県大会（一般Aクラス）」で第2位、「第43回二輪車安全運転全国大会（一般Aクラス）」で第14位の成績を収めました。

今後も災害時における確実な任務遂行をめざし、日々訓練に励むとともに、地域社会と連携した活動を展開していきます。

□参加した主な防災訓練等

- ・NTT「東日本つながるお仕事見学会」
- ・第31回九都県市合同防災訓練
（千葉県会場：君津市小糸側漁港接地・千葉市会場：千葉市立真砂第五小学校）
- ・夏休み親子防災教室2010参加（国土交通省 船橋防災センタ）
- ・市川市消防局「子供の消防広場」
- ・成田市総合防災訓練
- ・習志野市総合防災訓練
- ・我孫子市総合防災訓練



□社員のコメント

NTT-ME 千葉事業所 千葉NWS担当 堀越 実

3月11日に発生した東日本大震災の広域支援活動として、ポータブル衛星車を出動させ、宮城県内（被災地）の避難所へ特設公衆電話の設置を行いました。私たちの役割は通信サービスの確保であり、衛星通信方式により通信の孤立解消を図りました。

災害時に備え、今後も社内及び自治体の防災訓練等へ参画して、防災業務を遂行します。

安心・安全な社会のために

情報セキュリティの確保

NTT千葉グループでは、お客様情報・他事業者様情報保護をはじめとする情報セキュリティの確保に向け、さまざまな取組みを行っています。

■個人情報保護に向けた取組み

2007年7月9日、NTT東日本の地域会社として初めてプライバシーマークを取得しました。取得後も日本工業規格JISQ 15001：2006「個人情報保護マネジメントシステムー要求事項」に基づき、個人情報保護体制の整備及び適切な個人情報の取扱いを推進しています。

なお、2011年度は、7月9日に2回目の更新審査を完了しています。

■情報セキュリティと個人情報保護に向けた推進体制

お客様情報・他事業者様情報をはじめとする情報セキュリティ管理について、情報セキュリティ推進体制、情報セキュリティ推進委員会を設け、全役員、社員等に対し研修・啓発活動、社内規程類の体系的な整備等により情報セキュリティの確保を積極的に推進しています。

■情報セキュリティと個人情報保護に向けた各種施策

お客様情報・他事業者様情報保護をはじめとする情報セキュリティ管理に対する社会的要請を十分に認識し、適正な取扱いを推進していくことが、公共性を有する通信事業者としての重大な社会的責務と考えております。

その責務を十分果たすとともに、安心・安全なサービスを提供し、皆様に信頼される企業であり続けるため、お客様情報・他事業者様情報保護をはじめとする情報セキュリティ管理のために、次の取組みを行っています。

- 情報セキュリティに関する行動指針の策定
- 社員意識の向上と管理体制の強化
 - ・情報管理啓発員への研修会の実施
 - ・全社員（派遣社員等含む）への啓発・教育活動
 - ・全社員（派遣社員等含む）による自己点検・自主点検の実施
- 委託会社及び人材派遣会社の管理強化
- システムセキュリティの強化
 - ・社内LAN端末からの会社情報等の書き出し制限
 - ・電子記憶媒体の利用制限
 - ・セキュリティゲート設置による入室制限
 - ・FAX誤送信防止のためのシステム導入 等

「NTT東日本地球環境憲章」に基づき、千葉支店グループの活動、製品、サービスにかかわる地球環境保護及び管理活動に関する環境方針を定め、定めた適用範囲の中で環境保全、予防活動を継続的に推進しています。

■NTT東日本千葉支店グループ環境方針（2011.3.31 改訂）

基本理念

NTT東日本千葉支店グループは、地球環境の保全が 人類共通の最重要課題の一つと認識し、自然環境の保全につとめ、環境に配慮した、よりよい企業活動を目指します。

基本方針

NTT東日本地球環境憲章」に従い、千葉県内において、新たな価値と可能性を持つ優れたICTサービスの提供を通し、千葉の豊かで貴重な自然を次代へつないでいくため、以下の方針に基づき環境マネジメントを推進します。

1. ICTサービス事業にかかわる環境側面を考慮し、以下のテーマを重点に取り組みます。
 - 1) 環境に配慮したシステムとICTサービスの提供による、お客様の資源・エネルギー消費等環境負荷低減への貢献
 - 2) 電気通信設備の設置の効率的運用による省エネルギーの推進
 - 3) 業務改善による環境負荷の低減
2. 環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善及び汚染の予防をはかります。
3. 国、地方自治体の環境規制及び当支店グループが受け入れたその他の要求事項を順守します。
4. 社員一人ひとりが、業務の内外によらず日常生活に伴って生じる環境負荷を認識し、自ら低減に向け行動できるよう、環境教育や意識啓発を行うとともに、地域保護活動に積極的に参加し、地域社会に貢献します。
5. 全ての事業活動は、生物多様性と密接に関係していることを認識し、生物多様性を将来世代に引き継ぐための取組みを推進します。

■環境経営の3つの柱

NTT東日本グループは3つの柱を軸に環境経営を推進しています。1つめの柱は、情報通信サービスの提供を通じて社会全体の環境負荷低減に貢献すること。2つめの柱は自らの事業活動に伴って発生する環境負荷の低減に努めること。3つめの柱は社員一人ひとりが業務の内外によらず日常生活に伴って生じる環境負荷の低減に努めることです。

情報通信のリーディングカンパニーとしての責任

Green by ICT

情報通信サービスの提供を通じて、社会全体の環境負荷低減に貢献すること

企業市民としての責任

Green of ICT

自らの事業活動に伴って消費する資源やエネルギーの削減に努めること

地球市民としての責任

Green with Team NTT

社員一人ひとりが業務の内外によらず日常生活に伴って生じる環境負荷の低減に努めること

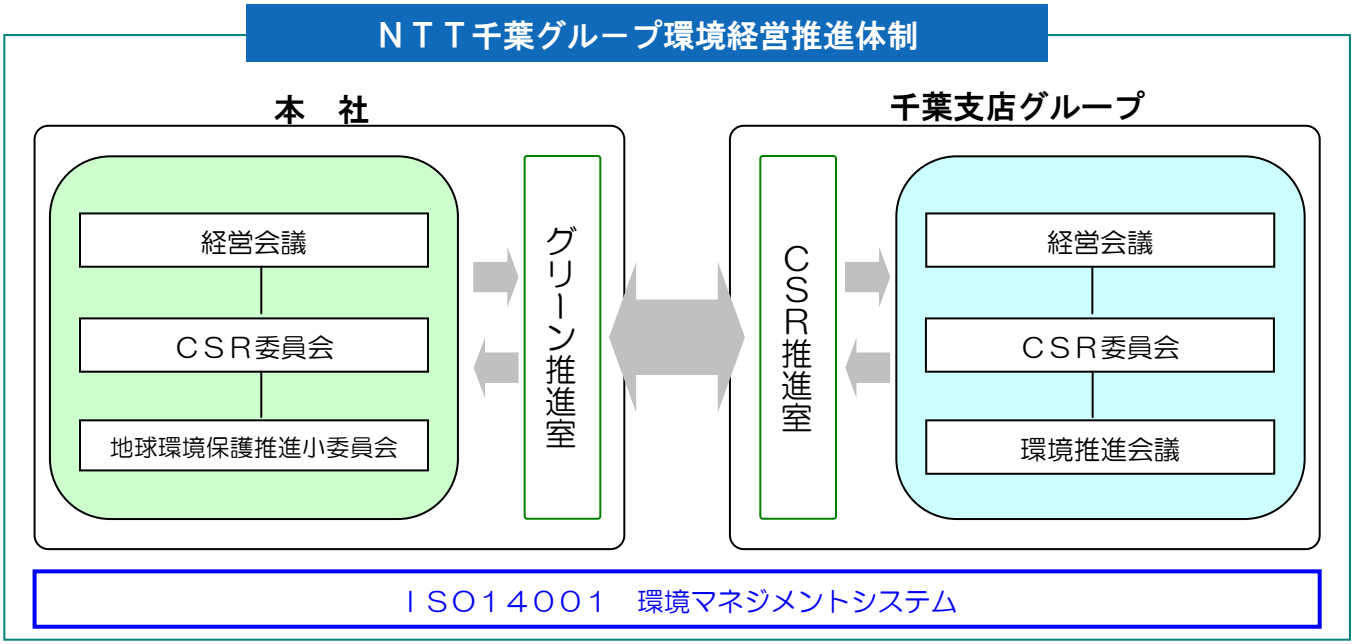
地球環境を守るために

環境マネジメント

■ N T T 千葉グループ環境経営推進体制

N T T 千葉グループは、環境負荷低減に向けた取り組みを推進するため、「環境推進会議」を設置し、「N T T 東日本千葉支店グループ環境方針」の策定・見直しや環境負荷低減目標である「環境保護推進アクションプログラム」を策定し、継続的な改善を図っています。

また、「環境保護推進アクションプログラム」の取り組みについては、本社と連携を図りつつ、取り組みを進めています。



■ ISO14001 環境マネジメントシステム

法規制の遵守やCO2削減等の環境負荷低減に向けた運用対策を各組織で徹底するため、ISO14001を用いた環境マネジメントシステムの構築・運用に取り組んでいます。

2011年3月には千葉支店グループの社員カバー率100%を達成しました。

■ 社員教育

環境問題に対して社員一人ひとりが自ら考え、行動することを目標に全社員を対象として環境教育を実施しています。

環境教育にあたっては、①全社員向け研修、②核要員養成に向けた研修、③経営層向け研修に階層化して実施しています。

地球環境を守るために

環境負荷低減に向けた取り組み

NTT千葉グループでは、環境負荷低減に向けたさまざまな活動に取り組んでいます。

特に環境への影響が大きい要素に対する主要行動計画目標（基本プログラム）については、詳細プログラムとして実行すべき管理項目を細分化して、取り組みを進めています。詳細プログラムの一つひとつの確実な取り組みが全体目標の達成に結び付きます。

また、主要行動計画目標（基本プログラム）の他にもさまざまな環境負荷低減プログラムについて同様に取り組んでいます。

■主要行動計画目標（基本プログラム）と詳細プログラム

主要行動計画目標 （基本プログラム）		実行管理 項目	詳細プログラム	管理指標	2010年度 実績	評価	2011年度 目標
温暖化対策	2008－2012年 度平均で、契 約者あたりの CO ₂ 排出原単 位を2000年度 比15%以上削 減する。	電力	TPR運動の推進	※1 CO ₂ 排出量	59,309t-CO ₂	—	※2
		ガス・燃料	ガス・燃料の使用 量の節減（灯 油・A重油、LPG、 都市ガス）	CO ₂ 排出量	263t-CO ₂	—	※2
		業務用車 両	自動車からの CO ₂ 排出量の削 減	CO ₂ 排出量	1,494t-CO ₂	—	1,494t-CO ₂
紙資源対策	2013年度まで に一人あたり 紙使用枚数を 4700枚以下に とする。	事務用紙	事務用紙の使用 量削減・環境に 配慮した紙材料 の使用	紙使用量	一人あたり 紙使用枚数 8500枚	—	一人あたり 紙使用枚 数6900枚
廃棄物対策	2010年度まで に廃棄物最終 処分量を1998 年度比50%削 減する。	オフィス内	オフィス内廃棄 物の削減と適正 処理	オフィス内 廃棄物最終 処分量	オフィス廃棄 物の最終処 分率1.03%	—	オフィス廃 棄物の最 終処分率を 前年度以 下とする （前年度 1.02%）

※1 電気購入量からCO₂への換算係数は電気事業者連合会が公表している目標値である「2008～2012年度平均0.34kg/kWh」を使用しています。

※2 目標値については、現在調整中です。

地球環境を守るために

環境貢献活動

■NTT東日本グループ「アクトグリーン21」

美しい地球を未来に「つなぐ」ために、私たちが果たすべき役割は大変に大きいものがあります。「情報通信のリーディングカンパニーとしての責任」と「企業市民としての責任」をはたしていくためには、社員一人ひとりの環境意識を高めていくことが重要です。

NTT千葉グループにおいては、これまで行ってきた職場での取り組みの徹底を図るとともに、社員の環境意識をさらに高めることを目的に「アクトグリーン21」を展開しています。

社員の環境意識を高めて持続的な環境活動を推進していくために、「eco検定受験」、「地域清掃活動への参画」など様々な取り組みを行ってきました。

特に、2011年度の夏には、社員の家庭において「節電ライフコンテスト」を実施し、家庭においても節電促進に取り組みました。

これからも、社員一人ひとりの取り組みにつながる各種施策を展開していきます。

全社員が参加する施策

職場での取り組み

- ・エコバッグ利用
- ・エコドライブ
- ・地域清掃活動
- ・ノー割箸化（会社食堂）
- ・3アップ4ダウン運動（エレベータ利用自粛）

会社による支援

- eco検定推奨
- 2010年度合格者数 228名

家庭(個人)の取り組み

- 節電コンテスト
- 東日本大震災に伴い、社員の家庭においても可能な限りの節電に取り組むため、電気使用量の削減を競う、節電行動推進のための施策

地域社会貢献／協働

- 屋上緑化活動
- 地域清掃活動を実施

しくみ

(1) トップによる意識啓発等・・・環境経営に関するトップメッセージを順次発信

(2) 環境デー（毎月5日）、環境月間（毎年6月）

しくみ	考え方	取り組み内容等
環境デー（毎月5日）	継続的運用施策の活性化	◇毎月環境デーを中心とした清掃活動の実施 ◇社内省エネ点検 等
環境月間（毎年6月）	環境施策を重点的に実施	◇「アクトグリーン21」諸施策の集中展開 （2010年度は「eco検定」勸奨）

(3) 全社員への環境教育による意識向上、知識付与
CSR研修（推進担当者等）、eラーニング（全社員） 等

地球環境を守るために

環境貢献活動

■水辺クリーンキャンペーン

社員の自然環境保護に対する意識高揚と、地域の美しい自然を守り、地域の皆様が気持ち良く暮せる生活環境作りをめざし、NTT千葉グループによる社会貢献活動の一環として、社員等および家族のボランティアによる海岸の清掃活動を実施しています。

2010年10月16日（土）、稲毛海浜公園「いなげの浜」において、NTT千葉グループの社員等および家族400名が参加し、約1 kmにわたる海岸に廃棄・漂着したプラスチックやビニールなどの不燃物を拾い集め、クリーンで安全な海岸の再生に取り組みました。



参加企業等

- | | | |
|----------------|------------|--------------------------|
| ・NTT東日本千葉支店 | ・NTT東日本一千葉 | ・NTT東日本コンシューマ事業推進本部千葉センタ |
| ・日本カーソリューションズ | ・NTTロジスコ | ・NTTソルコ |
| ・NTTファシリティーズ中央 | ・NTTファイナンス | ・NTTインフラネット |
| ・アイ・エス・エス | ・NTTME | ・NTTMEサービス |
| ・NTTドコモ千葉支店 | ・テルウェル東日本 | ・NTTコムウェア |
| ・和興エンジニアリング | ・大明 | ・東電通 |
| ・池野通建 | ・コミーチュア | ・協和エクシオ |
| ・電友会千葉支部 | の社員・会員及び家族 | |

■NTT 祐光ビルの屋上緑化

NTT千葉グループでは、環境・社会貢献活動の一環として、NTT祐光ビル屋上の空きスペースを利用し、サツマイモ水気耕栽培システムによる屋上緑化に取り組んでいます。

グループ会社社員自らがサツマイモの栽培管理にあたり、社員の環境保護意識の向上に努めています。サツマイモは、一般的な緑化に使用される芝生やセダム等に比べ葉が大きく、高さも40～50cmあり幾重にも重なり合うため、建物への直射日光を遮り建物の蓄熱を低減させるとともに、蒸散作用により周囲の空気を冷やす効果があります。

2010年の収穫時には千葉市にある保育園児を招き、大きく育ったたくさんのサツマイモを元気いっぱいに掘り起こし、園児たちは大変喜んでいました。また、収穫したサツマイモの一部を千葉市動物公園飼料として提供しました。



人と社会のために

お客さま満足度（CS）向上

NTT千葉グループは、「お客さまに選ばれ続ける企業」をめざし、お客さま満足度（CS）向上に向けたさまざまな取り組みを行っています。

■スマイル活動（スマイル委員会）

NTT千葉グループでは、お客さま満足度（CS）向上を目的に、スマイル活動を実施しています。スマイル活動とは、お客さまや社員から寄せられたご意見・ご要望に対して、事業を改善して行く活動です。お客さまからのご意見・ご要望については、「千葉スマイル委員会」にて審議し、千葉管内で改善施策を実施しますが、NTT東日本の商品や、サービスに対する改善等の内容については、NTT東日本へ意見提起し、全社的な改善施策の検討を依頼します。

「千葉スマイル委員会」開催状況については次のとおりです。

■2010年度（4月～3月）「千葉スマイル委員会」活動状況

開催回数 ： 10回

主な審議内容 ： お客さまや社員から寄せられた改善要望等

■応対コンクール

NTT千葉グループでは、お客さま満足度（CS）向上を目的に、財団法人日本電信電話ユーザ協会主催「電話応対コンクール」を後援・参画しています。

電話応対コンクールとは、電話応対内容から企業イメージがどう作られたか、「顧客満足度」を競うものです。競技を通して、お客さま満足度（CS）向上を目的にして行く活動です。

今後も、お客さま満足度（CS）向上に向け、引き続き参画して取り組みます。



人と社会のために

次世代につなぐ取り組み

インターネットや携帯電話を使う子どもたちが増え、メールのやり取りなどに伴うトラブルが社会的な問題となっています。トラブルを未然に防ぐには、児童・生徒自身のコミュニケーションの仕方などメディアリテラシーの向上と、保護者・教職員による保護・教育が求められます。

NTT千葉グループでは、このような社会的要請にお応えするために、次のような施策にスキルを有する社員を派遣し、ネット安全の啓発に取り組んでいます。

■「ネット安全教室」による安全啓発

□主 催：NTT千葉グループ

□対 象 者：小学生高学年

□主な内容：①メールを通じたコミュニケーション
②チェーンメールとブログ、掲示板の注意点
③ネットで調べ学習する時の注意点 等

□活動実績：5回開催、延べ414名受講

□その他：「e-ネットキャラバン」は、保護者及び教職員の方々を対象に、インターネット利用の安全啓発に取り組んでいます。

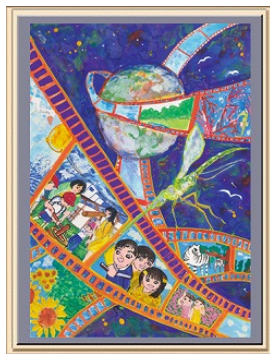


NTT千葉グループは、次代を担う子どもたちとの交流を通して、心豊かなICT社会や未来づくりに取り組んでいます。

■「第61回 NTT児童画コンクール」

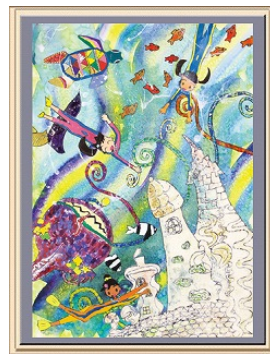
千葉県内の小学生の皆さんに、絵を描くことを通じて電話やインターネットなどの電気通信の世界を身近に感じていただくとともに、絵画学習や文化振興の活性化を支援するところを目的に毎年開催しています。本コンクールは、2010年で61回目の開催となりました。審査会では、6名の審査委員が、表現技術や構図、色使いなどに優れた作品を選び、千葉県知事賞など特選12点と、入選18点、佳作60点が選ばれました。

【千葉県知事賞】



根本 英一さん（千葉市6年）の作品
「伝えよう！僕の思い出
楽しい地球」

【千葉県教育長賞】



押本 夏佳さん（四街道市5年）の作品
「海の仲間と通信しよう」

- コンクール
 - 募集期間：2010年6月中旬～9月中旬
 - 応募校：358校／応募数：3,380点
- 展示会（入選作品を展示）
 - NTT東日本千葉支店フレッツショールーム
2010年11月24日～12月10日
 - 千葉県青少年女性会館
2010年12月16日～1月13日
 - Qiball（きぼーる）
2011年1月18日～1月22日

■つながるおしごと見学会

安心・安全に暮らせるための地域への社会貢献活動の一環として、「つながるおしごと見学会」を開催しています。

このイベントでは、電話・インターネットがつながるしくみを学ぶとともに、通信ネットワーク設備（高所作業車等）を見学・体験した後、インターネットの楽しさを体験しながら安全に使いこなすためのルールやマナーについての学習も実施しています。



インターネット体験学習



高所作業車の体験乗車

【社員のコメント】

NTT東日本ー千葉
総務部 CSR推進室
藤原 あや子

「次世代につなぐ企業活動」として、お客様モニター活動を発展させ、2009年より「つながるお仕事見学会」を実施しています。これは、県下の親子を対象にした施設見学会です。CS向上に努め、設備部門スタッフ参加による働く誇り・ES向上にも努めています。

□実施月日：2010年8月5日～8月6日

□参加者数：182名

□実施場所：NTT東日本千葉支店 光HOUSE

人と社会のために

技術力をつなぐ取り組み ～つなぐDNA～

NTT千葉グループは、技術力向上と技術力を次代につなげるためにさまざまな取り組みを行っています。

■チバリニピック

アクセス系光故障探索・修理の部

故障修理者の技術スキル向上を目的として、持ち前の腕を競い合う大会「チバリニピック」を開催しています。「チバリニピック」は、日常業務の一環である「故障修理をどれだけ早く・正確に回復させるか」、「お客様に満足していただける対応が来ているのか」などをチーム形式で競い合う大会を開催しています。

お客様故障受付対応の部

故障受付における近年情報通信の取り巻く環境は、ブロードバンド・インターネットを利用するお客様のニーズの多様化・複合化が進み放送と通信等のサービスの融合が求められ多種多様なお問合せを「迅速・丁寧」な対応でお客様に満足していただけるかを競う大会を開催しております。

大会実施模様

□ 実施月日 : 2010年11月25日(木)

□ 実施場所 : NTT幕張ビル 25F

故障点探索模様



応対模様



優勝者のコメント

アクセス系光故障探索・修理の部

私たちは、インフラを「つなぐ」「まもる」「つくる」を使命とし、日々困難にも負けず、また震災にも負けずお客様のために、日々社員一同、業務に従事しております。

また、お客様第一主義を最優先とし、迅速・親切・丁寧な作業対応を心掛け、今後も今以上に、お客様サービス向上に努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

お客様故障受付対応の部

私たちは、お客様信頼確保に向け、サービス品質の向上を目指し応対研修を継続的に実施しサービスレベルの維持向上に努めております。

また、お客様へ安心・安全で信頼されるサービスの提供に向け、心のこもった対応を心がけ、お客様サービス向上に努めております。



優勝者: アクセスサービス部門 成田FS担当
鈴木 陽宜・根本 忠男



優勝者: カスタマサービス部門
千葉113サービス担当 長井 光良・石井 清

チームNTTの取り組み

地域社会への貢献

NTT千葉グループは、地域社会の一員として「良き企業市民」をめざし、自治体や企業等と連携して継続的かつ積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。

■地域社会における環境美化活動

NTT千葉グループでは、地域企業等との連携や社員のボランティア活動を通して、地域の美化活動に積極的に参画しています。

●幕張新都心まちづくり協議会

幕張新都心にオフィスを置く企業が、快適な都市環境を形成・保全し、新しいまちづくりを会員が協力して推進することを目的に1990年2月に設立されました。「電波障害部会」「業務地域部会」及び「商業地域部会」で構成され、幕張新都心地区の清掃（年2回）及び国際大通りに設置されているプランターの花苗の移植（年2回）を実施しています。



幕張新都心地区の清掃活動



プランターの花苗の移植

●千葉駅前オフィス町内会

千葉駅前にオフィスを置く企業が、企業の社会的責任として環境問題を考え、地域社会に貢献することを目的に1992年2月に設立されました。

「環境美化部会」と「古紙回収部会」で構成され、オフィスから排出される紙資源のリサイクル及び千葉駅前大通りの清掃（毎月1回）を実施しています。



千葉駅前オフィス町内会の清掃活動

●地域清掃活動

自治体主催等の清掃活動に各営業所の社員・家族がボランティア参加し、地域美化活動に取り組んでいます。

主な地域清掃活動

自治体	実施日	活動内容
市川市	2010.5.30	江戸川河川敷周辺の清掃
船橋市	2010.11.21	天沼弁天池公園周辺の清掃
松戸市	2010.12.5	新松戸駅周辺の清掃
木更津市	2010.8.25	矢那川周辺の清掃
各営業所	毎月	NTTビル周辺の清掃

チームNTTの取り組み

地域社会への貢献

■企業消防団活動

NTT千葉グループでは、良き企業市民として地域社会へ貢献するため、2009年4月17日に千葉県内初の企業消防団を発足しました。また、企業消防団としては全国で初めて小型ポンプ車が千葉市から貸与され、現在も年間を通じて、定期的を実施されている各種訓練等の消防活動に参加しています。

今後は地域に密着した消防活動を通じ、安心・安全なまちづくりに貢献していきます。

□団員数：8名（2011年3月末現在）

□活動エリア：千葉市美浜区中瀬地区



千葉市消防団協力事業所

千葉市消防局 交付：2011年6月

■NTT東日本ボランティアギフトプログラムの実施

NTT東日本ボランティアギフトプログラム（以下「ボランティアギフト」という。）は、社会福祉・自然環境保護・子どもの健全育成の分野で長期に渡ってボランティア活動を継続している社員を対象に、その活動先の施設等に物品を寄贈するというプログラムです。

2010年度は、南房総市スポーツ少年団白浜柔道クラブへ、柔道衣、横幕を贈呈しました。今後も、ボランティアギフトを通じて、健全な地域社会の発展へ貢献して行きます。

□贈呈月日：2011年6月5日

□贈呈団体：南房総市スポーツ少年団 白浜柔道クラブ

□寄贈：柔道衣、横幕

□実施場所：白浜体育センター

□該当社員：設備部 アクセスサービス部門
館山FS担当主査 瀧辺哲雄



【社員のコメント】

このたびボランティアギフトに選ばれ、頂いた柔道衣を早速活用させて頂き、代表初め父母会一同大変感謝しています。私自身21年の指導を通じ、教える事の難しさと成果が出た時の喜びを日々実感しているところです。今後も地元柔道の発展に微力ながら貢献して行きたいと思います。
本当にありがとうございました。

チームNTTの取り組み

地域社会への貢献

■「電話お願い手帳」「ふれあい速達便」の寄贈

耳や言葉の不自由な方々が、円滑に用件や連絡を伝えることをお手伝いをするための2010年版「電話お願い手帳」「ふれあい速達便」それぞれ約1万部を、千葉県健康福祉部を初め、県内市町村の福祉課や福祉関係機関、大型スーパー等へ寄贈いたしました。

「電話お願い手帳」は、耳や言葉の不自由な方々が外出先で電話連絡等を行う際に、用件や連絡先を書いて近くの方に協力をお願いするコミュニケーションツールとしてご利用いただくもので、「私のかわりに電話をかけていただけますか」などのお願いカードや、複数の依頼内容（緊急・お願い・電話）などが掲載されています。この手帳は、昭和58年に千葉県の流山電報電話局（当時）で誕生し、今年で29回目の発行となります。

また、「ふれあい速達便」は、耳や言葉の不自由な方々のコミュニケーション手段として利用が増えているファクスの送信用紙を冊子にしたもので、平成2年に誕生しました。



電話お願い手帳（左）とふれあい速達便（右）

■「NTT千葉 年末チャリティーバザー」の開催

2006年から新たな社会貢献活動として始めたチャリティーバザーは2010年で5回目となりました。今回は、昨年12月18日（土）にNTT東日本千葉支店フレッツショールーム（千葉市富士見）で開催しました。

バザー当日は、開場前から行列が出来るなど市民の皆様にも多数ご来場いただき、前回に引き続き盛況のうちにバザー品が売り尽くされました。

なお、当日の収益金189,310円につきましては、福祉活動に役立てていただくため、千葉県社会福祉協議会へ贈呈いたしました。



■校外臨床実習生の受け入れ

NTT千葉グループでは、2010年4月から7月の期間、千葉県立千葉盲学校の臨床実習生2名を受け入れ、理療施術者としての技術の向上と資格取得に貢献しました。

千葉県立千葉盲学校では、学習指導要綱にもとづき、理療施術者として資格を取得するために校外臨床実習が必須であることから、近隣（四街道市）企業等に協力を求めていましたが、受入れ期間が長期のため、受入れ可能な企業も少なく受入れ先の選定に苦慮していました。こうした状況から、千葉市内の企業等へも受入れの打診がなされ、NTT千葉グループにおいて、地域社会への貢献活動の一環として、実習生を受け入れました。

毎週火曜日に、実習生が社員に対して一人30分程度の「あん摩・マッサージ・指圧」等の施術を実施し、技術力の向上を図りながら社員とのコミュニケーションを深めました。

実習生の丁寧な問診や施術により、社員も安心して施術を受けることができたこと、および盲学校の実習生とのふれあいを通じて、地域社会へ貢献していくことの大切さを深く実感することができました。

なお、この取り組みは2011年度も継続して実施しています。

チームN T Tの取り組み

働く社員の安全・健康増進

N T T千葉グループは、社員一人ひとりの能力を最大限発揮できるよう、安全や健康管理など、さまざまな面から、社員をサポートしています。

誰もが安心して働くことのできる職場環境の充実に取り組んでいます。

■労働安全衛生の水準の向上に寄与する取り組み

●事故「ゼロ」に向けた取り組み

N T T千葉グループは、パートナー企業とも一体となり、事故「ゼロ」に向けた安全管理体制の強化に取り組み、だれもが安心して働くことのできる安全な職場環境の充実に取り組んでいます。

2010年度は、前年度に引き続き、①交通法規及び交通動画K Y（危険予知）等の講習、②地域特性に応じた一般道路における運転技術診断等を行うとともに、今年度については、特に運転経験の浅い新入社員や若手社員（入社2年目～7年目社員）を本講習に参加させ自己の運転操作の癖・誤った知識を再確認させるなど、安全意識の向上に努めました。

□ 活動実績 8コース8回 158名参加

●健康教育の充実による社員の健康・衛生意識の向上

社員の健康管理については、「自らの健康は自らが守る」ことを前提とした健康意識の醸成や安心して働ける健全な職場環境の形成等に向け、職場・地域実態を踏まえた諸施策を継続的に展開し、社員の健康意識の向上に努めています。

2010年度においても、社員の疾病の未然予防、早期発見・早期治療の観点から、①新型インフルエンザをはじめとする感染症予防に向けた各種対策の推進、②過重労働による健康障害防止対策の徹底、③社内外の健康相談窓口の浸透・定着化、④健康管理スタッフを活用した積極的な職場健康相談、等を実施しました。

●社員の心の健康を守るためのメンタルヘルス対策について

2010年度については、①職場・健康管理スタッフが一体となったメンタルヘルス問診の実施、②ラーニングプラットフォームを活用した「メンタルヘルス応用講座」の実施、③「N T T東日本グループなんでも相談ダイヤル」のサービス内容の拡充および職場・社員への浸透・定着化、④階層別メンタルヘルス講習会（新入社員、課長代理・主査、転入管理者等）等を展開しました。今後もメンタルヘルス不調の予防・早期発見・フォローに努めてまいります。

□ 活動実績（階層別メンタルヘルス講習会）

- ・新入社員 1コース 1回 39名参加
- ・課長代理・主査 2コース 4回 190名参加
- ・転入管理者等 1コース 2回 40名参加

●成人病予防（運動の促進）対策

生活習慣に起因する疾病予防のため、成人病予防（運動の促進）対策の取り組みを推進しています。

前年度に引き続き、2010年度においても、リハビリの専門医師を講師とした講演と体力測定を行い、運動と健康のかかわり方について指導するとともに、現時点における自己の状況を的確に認識させ、生活習慣や行動の変容に向けた「気づき」や「自覚」を促し、自己の健康管理意識の醸成に努めました。

また、新規施策として、特に健康診断等において、異常を認められなかった55歳の社員を対象に、健康管理スタッフによる訪問健康相談を実施しました。

今後も、社員の健康の保持・増進に向け、創意工夫による積極的な取り組みを行ってまいります。

□ 活動実績

- ・成人病予防（運動の促進） 2コース 4回 126名参加
- ・55歳を対象とした職場健康相談 200名実施

●心肺蘇生法（A E D操作）の理解習得に向けた取り組み

A E Dを使用した心肺蘇生方法を学び、緊急時に対応でき得る人材の育成を図ることを目的に、「救命救急（A E D操作）講習会」を開催しました。

□ 活動実績 9コース 10回 151名参加

チームNTTの取り組み

多様性の尊重に向けた取り組み

NTT千葉グループは、多様な人材の活用、多様な働き方の推進が、一人ひとりの能力の最大限の発揮、ひいてはトータルマンパワーの最大化につながっていくとの認識の下、一丸となってダイバーシティ・マネジメントを推進していきます。

■ダイバーシティ・マネジメントの推進

社会の変化に伴い、多様化するお客さまのニーズにお応えしていくには、NTT千葉グループ内にも同様の多様性を形成していくことが必要です。そこで、社員一人ひとりが持つ能力や特性、価値観の違いを尊重し、一人ひとりの社員を効果的・戦略的に活用していくために、2010年7月に「ダイバーシティ推進担当」を発足させました。

ダイバーシティ・マネジメント推進に向け、今後の行動計画の柱として「ダイバーシティ文化の醸成」、「ワーク・ライフ・バランスの推進による仕事の効率性・生産性の向上」、「すべての社員等が力を発揮できる職場づくり」を策定しました。

今後は、各タスクにダイバーシティ推進者を任命しダイバーシティ・マネジメントの基盤強化を図るとともにさまざまな活動を積極的に展開していきます。

具体的には、会議の生産性向上を図るための基本ルールを定めた「Value Meeting活動」、在宅勤務の積極的な活用に向けた取り組みの推進、バリアフリーなコミュニケーションを推進する「オフサイト・ミーティング」の推進など、多様な人材が活躍できる風土づくりに努めていきます。

●各種制度の一例

	制度の名称	概要		制度の名称	概要
育 児	育児休職	子どもが満3歳になるまで取得可	介 護	介護休職	最長1年6カ月まで取得可
	短時間勤務	子どもが小学校3年生の年度末までの期間、1日の勤務時間を4・5・6時間から選択可		短時間勤務	介護休職の期間とあわせて最長3年間、1日の勤務時間を4・5・6時間から選択可
	再採用制度	育児に専念するために退職した場合、一定の要件を満たせば選考により再採用が可能		再採用制度	介護休職後、引き続き介護のために退職した場合、退職後一定期間内に社員として再採用
	ライフプラン休暇（育児）*	子どもの養育を目的に、1週間以上の休暇として取得可		介護休暇 2010年6月新設	家族の介護を目的に、1年度につき5日取得可* （被介護者が2人以上の場合は10日）
	育児支援サービス（カフェテリアメニュー）	ベビーシッター育児支援サービス（子どもの家庭内での保育、保育所等への送迎）の割引券の交付等		ライフプラン休暇（介護）*	家族の介護を目的に、1週間以上の休暇として取得可

* 勤続年数5年ごとに5日間の休暇が発効され、また失効年休の一部についても積立可能な休暇

■福利厚生

社員が入社してから退職するまでの間、ライフプランやライフスタイルに応じてさまざまな福利厚生メニューが選択できる「カフェテリアプラン（選択型福利厚生制度）」や、社員がライフプランの設計や見直しが行えるよう、節目をとらえた「ライフデザイン研修（3回）」を実施するとともに、「ライフデザイン相談室」も用意しています。

コミュニケーションツールのご紹介

NTT千葉グループでは、安心して働ける職場づくりと地域社会とのより良い関係を構築するために、適切に情報を公開し、社会と企業の相互理解・共感をいかに深めるかは大切な要素と考えます。各種ツールを活用し、社内外との情報の共有を図っています。

[NTT東日本 千葉支店ウェブサイト]

■社外向けウェブサイト

NTT東日本千葉支店およびNTT東日本ー千葉のご案内や新しいサービスのお知らせなど、さまざまな情報を提供させていただいています。

- <http://www.nttchiba.com/>
- <http://www.ntteast-chiba.co.jp/>



[NTT東日本-千葉ウェブサイト]

■社内コミュニケーションウェブサイト

社内の情報をリアルタイムに共有するため、ウェブイントラサイトを活用、また、業務改善を中心としたサイトや電子新聞を活用するなど、社内におけるコミュニケーションの充実を図っています。

[カイゼン/わいがや新聞]



[社内イントラサイト]



[カイゼン推進のイントラサイト]